

村井 弦齋(むらい げんさい)

資 料

短冊『夕立や 案山子うらやむ 濡すがた 弦齋』

作 者

1864(文久3). 12. 18－1927(昭和2). 7. 30

三河(愛知県豊橋市)生まれ。

東京外国語学校に入学するが、健康を害して退学し独学する。渡米後、郵便報知新聞社に入り、小説「日の出島」や「食道楽」を連載する。結婚後、神奈川県平塚市に住む。

参考文献

『「食道楽」の人村井弦齋』(黒岩比佐子／著 岩波書店
2004. 6 [県立 910. 26NN/2198(21715297)])

『時代の先駆者 よみがえる村井弦齋 明治の実用小説
家(平塚市博物館展示図録 夏季特別展)』(平塚市博物
館／編・刊 2000. 7

[県立 070. 16/24(21657804)])

『食道楽(上・下)』(村井弦齋／作 岩波書店(岩波文庫)
2005. 7

[県立 イ913/ム/1・2(21842224・21851175)])

